

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について (オプトアウト)

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研究課題名	顆粒球・単球吸着除去療法の難治性乾癬における使用法の確立についての検討
当院の研究責任者 (所属)	皮膚科 清島真理子
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	難治性乾癬に顆粒球・単球吸着除去療法を行う際にどのような場合に施行すると有効性が高いかを調べることを目的としています。
調査データ該当期間	当院医学倫理審査委員会承認後から2028年3月31日まで
研究の方法(使用する 資料等)	診療録から、難治性乾癬の病型、重症度、検査データ、皮膚病理所見、関節所見、発症年齢などの因子とこの治療の有効性との関連を検討します。
試料/情報の他の機関 への提供	なし
個人情報の取扱い	情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。 研究結果が公表される場合にも個人が特定されることはありません。
本研究の資金源(利益 相反)	なし
お問い合わせ先	皮膚科 清島真理子
備考	